

雨にも負けず、風にも負けず。  
そして、雪にも負けず。  
地域のこととは地域で!!  
創意工夫でがんばろう!!



▲この日は雪混じりの雨が降り、とても寒い日でしたが、終始和やかなムードで作業を行いました。

## プロフィール Profile

たかちょうとみの　お  
多賀町富之尾  
のうじくみあいぼうじん　とみの　お  
農事組合法人 富之尾ファーム  
にしくら　しん　いち

代表 西倉 進一さん(81)

主な生産作物

作物名	作付面積
水稻	10 ha
小麦	6.38 ha
多賀そば	6.4 ha

(令和4年度)



▲生産した米でつくるお酒は、豊郷町の酒蔵などで販売中です。

## 移り行く季節を堪能し、 創意工夫で農地を守る



▲1日の作業を始める前のミーティング。安全を第一に、互いに声を掛け合います。

多賀町の富之尾地域と滝ヶ原地域の農地を担う当法人では、春夏秋冬を肌で感じ、山から流れ出る美しい水を使って農業に勤しんでいます。高齢者が多いものの30代のオペレーターも在籍しており、作業が上手くいけば皆で喜び、上手くいかなければ皆で悔しがり、喜びも悲しみも分かち合いながら取り組んでいます。また当地域ではとにかく獣害が多く、年によっては収量が激減することもしばしばです。シカは米や麦の新芽を好み、サルは実った米・麦・ソバを食べ、イノシシは収穫前に田んぼで暴れています。なかなか解決は難しいですが、今後も地域の農地を守るために、「地域のことは地域で!!」創意工夫でがんばろう!!」をモットーに取り組んでいきます。

## 農林観光の拠点に 活路を見出したい

富之尾地域や滝ヶ原地域をはじめ、この周辺地域は、自然の恵みを活かした農林業で栄えた地域です。近年は「ロナで自肅していますが例年11月末には大瀧支店で農業祭を開き、もちろん私たちが生産した米でつくった新酒の試飲、林業関係者による工芸品、更には水産業も連携したイワナの塩焼きなど、大いに盛り上がります。このような豊かな自然を活かした取り組みこそが、この先も私たちの地域を守り高めていくために必要なことではないかと考えています。地域の農地に安定して水を引くための貯水池周辺には遊歩道が整備されており、高台からは琵琶湖や農村風景を見渡すことができるハイキングに最適です。秋の紅葉はもちろん、春には佃川の堤防を中心に各地で桜が咲き誇り非常に見応えがありますし、周辺地域にも有名な神社仏閣をはじめアスレチックやキャンプ場があります。観光名所を有する隣接地域が連携し、地域一体で農林観光の拠点を目指すことができればと思います。



▲農地に安定して水を引くための貯水池。美しい眺めを楽しむことができます。

## 小型の農業機械で 農にふれあう機会づくりを

今後も地域の農業を守っていくためには、やはり様々な世代の方に農業を身近に感じてもらうことが大切だと思います。整地面積の小さい農地があることから、無理な操縦で畦などを壊してしまうことのないよう、比較的操作が簡単な小型農業機械の導入を検討しています。そして、女性や若者など多様な世代に操縦を体験してもらうことで、農業の面白さにつなげる機会づくりを進めていきたいです。



▲多く存在する不整地田を活かした取り組みを検討中。

また、11年ほど前から取り組み続けているお酒の販路拡大などPRにも力を入れたいです。「シヒカリ」を使った「富之尾」は、辛口でキレイがあります。今年3月に新酒が出回る「滝乃響」は、キヌヒカリを使い、甘くまろやかな味わいが魅力のお酒です。機会があればぜひお試しください。これからも法人一同がんばりますので、何卒よろしくお願いします。